

稲住 碧 ちゃん
3歳・土沢



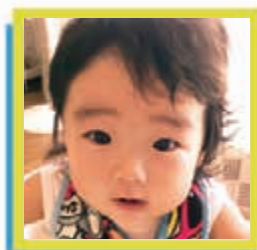
大木 陽平 ちゃん
11か月・板橋



お子さん(小学生まで)の写真募集…顔・頭全体を撮影してね！
※お子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・保護者名・電話番号を明記
※掲載は市内在住者1人1回のみ、受付順
※郵送またはメール(hishokouhou@city.nikko.lg.jp)でデータを送付
携帯電話・スマートフォンからは、右のQRコードも利用可



高橋 桜律 ちゃん
11か月・七里



根本 和胡 ちゃん
8か月・平ヶ崎



梁島 陽向 ちゃん
10か月・今市



日光茅ボッチの会
飯村孝文代表



参加した宇都宮クラーク高等学院と文星芸術大学の皆さん



10～11月にかけて、土呂部の秋の風物詩となった茅ボッチづくりが行われました。茅ボッチは刈り取った草を乾燥させ、冬季の牛馬の餌などに活用するためのものです。
10月18日(日)は、若者の農山村の理解促進を図るために県が実施。大学生、高校生約20人が

日光茅ボッチの会の指導のもと、ススキやワラビなどの草を束ね、円すい状に立て掛けて、茅ボッチを作っていました。
参加した文星芸術大学のインさん(中国)は「雨の後の土のにおいを感じながらの作業でした。茅ボッチに命を与えているようでした」と話してくれました。

11月の
秋の祭
土呂部の茅ボッチづくり



フォトダイアリー・プラス

フォトぶら

第3回・小田原市(1980年(昭和55年)姉妹都市提携)

小田原市は神奈川県西部に位置する人口約19万人の都市で、戦国時代には後北条氏の城下町として、江戸時代には東海道の宿場町として栄えました。

小田原市と日光市の縁は、金次郎像でおなじみの二宮尊徳です。1787年(天明7年)に現在の小田原市に生まれた尊徳は、小田原藩や農村の再建に優れた手腕を発揮しました。その後、下野国桜町領(現在の真岡市)の復興を手掛け、その手法は「報徳仕法」と呼ばれました。晩年、幕府から日光神領復興を命じられると、現在「日光市二宮尊徳記念館」がある場所に「報徳役所」を建設して移り住み、日光の復興に尽力し、1856年(安政3年)、その「報徳役所」で70年の生涯を閉じました。

ご存じですか？
姉妹都市・友好都市



小田原城天守閣